

主 要 年 表

年 月	事 項
昭和37年 1月	町制を施行し内灘町となる。
4月	内灘中学校校舎完成する。
5月	小・中学校の遠距離通学者のため、スクールバスの運行を始める。
6月	「広報うちなだ」第1号を発刊。
昭和38年10月	内灘町商工会発足する。
10月	内灘町燃糸工業協同組合設立される。
12月	中山又次郎著「内灘郷土史」出版される。
昭和39年 1月	内灘町漁業者転業対策本部を設け町長本部長となる。
6月	七百町歩問題、東京高裁で和解成立する。
9月	河北潟干拓本工事開始。
10月	東京オリンピック開会。
11月	宮坂公民館落成。
昭和40年 4月	向栗崎公民館落成。
5月	内灘町体育協会発足する。
5月	向栗崎・内灘中央・北部の3漁協合併し、内灘町漁業協同組合となる。
7月	内灘町営海水浴場オープン。
昭和41年 9月	町内小・中学校で学校給食が始まる。
9月	中山又次郎内灘町名誉町民となる。
昭和42年 3月	内灘第1児童館を室に建設する。
7月	島崎悦吉内灘町名誉町民となる。
11月	鶴ヶ丘東公民館落成。
昭和43年 2月	西荒屋から七塚町白尾に至る農免道路完成する。
3月	西荒屋小学校移転新築。
6月	大根布（河北潟）放水路の開通式行われる。
11月	役場庁舎新築成る。（現保健センター）
12月	内灘大橋渡りぞめ式行われる。（現内灘橋）
昭和44年 5月	ビニール水田の造成完了する。
7月	アメリカの宇宙船アポロ11号人類初の月面着陸に成功。
9月	内灘町の人口1万人を突破する。
10月	北部保育所・西荒屋公民館落成。
11月	河北郡共同斎場落成。

昭和45年 5月	火力発電所建設計画について町と北陸電力の合意なる。
7月	火電建設反対運動が起こり「内灘公害阻止連合」結成される。
7月	大根布小学校校舎新築。
9月	鶴ヶ丘西公民館落成。
昭和46年 3月	鶴ヶ丘2丁目に内灘派出所が設置される。
4月	旭ヶ丘公民館落成。
7月	鶴ヶ丘郵便局開局する。
7月	向粟崎3丁目に少年の家完成。
9月	室で土砂くずれあり8戸の民家に避難命令出る。
11月	内灘砂丘北部農免道路（大根布西荒屋間）開通する。
昭和47年 1月	町制施行10周年記念式典行われる。
4月	鶴ヶ丘保育所開設される。
5月	沖縄が日本に復帰する。
6月	金沢医科大学開学。
昭和48年 2月	中村小重町長、北陸電力に火力発電所建設拒否の公文書を提出する。
7月	内灘町福祉センター「憩」完成。
11月	鶴ヶ丘北公民館落成。
昭和49年 3月	宮坂公民館改装なる。
4月	鶴ヶ丘東保育所落成。
9月	内灘町消防署業務を開始する。
9月	内灘町野球場完成。
9月	金沢医科大学病院が開院する。
10月	内灘町体育振興事業団設立する。
12月	能登海浜道路全線（羽咋市柳田～金沢市粟崎間）開通する。
12月	内灘マリーナ完成する。
昭和50年 1月	内灘町青年団協議会結成される。
3月	内灘中央公民館落成。
3月	井上靖文学碑除幕式行われる。
4月	大根布小学校を大根布南小学校とし、大根布東小学校分立する。
6月	内灘町総合公園が福祉センター前に開園する。
10月	内灘町土地開発公社を設立する。
11月	緑台公民館落成。
昭和51年 4月	内灘体育館落成。

4月	内灘町武道館落成。
7月	内灘町霊園第一期工事完了する。
11月	内灘町商工会館完成する。
昭和52年 4月	内灘町福祉センター老人棟完成する。
4月	内灘町弓道場完成する。
4月	向陽台に交通公園開園する。
7月	向粟崎、中央、北部の3農協が合併し、内灘町農業協同組合となる。
7月	向粟崎小学校が加能学園跡地へ移転新校舎完成する。
8月	第1回内灘町民夏まつり開催される。
10月	向粟崎児童館で学童保育始まる。
12月	アカシア公民館新築成る。
昭和53年 3月	内灘町基本構想が議会で承認される。
4月	内灘町海洋少年団結成される。
6月	黒津船地内、宮坂と合併する。
昭和54年 4月	内灘町歴史民俗資料館完成する。
4月	内灘サイクルスポーツセンター完成する。
7月	内灘町の人口2万人に達する。
10月	内灘中学校相撲場完成する。
11月	内灘町文化会館開館する。
11月	町の木、町の花、町の鳥制定される。
12月	内灘町文化協会結成される。
昭和55年 3月	内灘町勤労者体育センター完成する。
4月	能登海浜道路内灘インター使用開始。
5月	内灘総合グラウンド（陸上競技場）完成する。
10月	北海道羽幌町と姉妹都市の提携を結ぶ。
12月	内灘町働く婦人の家完成する。
12月	千鳥台公民館完成する。
昭和56年 3月	内灘町サイクリングターミナル完成する。
3月	内灘電話局、金沢局に包含され、市外局番なしで金沢との通話可能となる。
7月	河北潟干拓地へ酪農家入植する。
12月	名誉町民中山又次郎没。
昭和57年 1月	町制施行20周年祝賀式を挙げる。
1月	内灘町史公刊。

1月	内灘町民憲章制定される。
12月	大学公民館落成。
12月	大根布東小学校増築成る。
昭和58年 3月	町制施行20周年記念映画「はたちの鼓動内灘」制作。
3月	室児童館新設。
4月	学校給食共同調理場落成。
6月	参議院議員選挙全国区制が比例代表制となる。
9月	第1回内灘町美術展開催。
11月	向粟崎東集会場完成。
12月	清湖大橋開通式。
昭和59年 9月	内灘中学校増築工事落成する。
12月	大清台集会場落成する。
昭和60年 3月	内灘派出所が内灘幹部派出所に名称変更され、新築なる。
5月	「内灘町議会だより」第1号を発刊。
8月	全国高校総体自転車競技が内灘町で行われる。
9月	西荒屋小学校大規模改修工事完成する。
昭和61年 3月	内灘共同福祉会館落成。
3月	内灘町行政改革大綱策定なる。
4月	内灘高等学校開校する。
昭和62年 4月	総合公園拡張事業始まる。
9月	大根布南小学校大規模改修工事完成する。
昭和63年 3月	放水路左岸に大島桜植樹。
11月	河北潟酪農団地で第1回モウモウフェスタが開催される。
12月	内灘町生きがいセンター開設。
平成 元年 2月	内灘町消防庁舎増築工事落成。
3月	内灘町勤労青少年ホーム完成。
3月	内灘中学校体育館完成する。
4月	内灘町浄化センター供用開始する。
5月	第1回日本海凧揚げ大会開催。
平成 2年 4月	内灘町民プールにエアドーム完成。
6月	内灘砂丘放水路温泉湧出。
7月	北海道羽幌町との姉妹都市提携10周年を祝う記念式典。
10月	石川国体リハーサル大会(第25回全国都道府県対抗自転車競技大会)が開催される。

	10月	内灘中学校創立30周年記念式典。
平成 3年	10月	第46回国民体育大会秋季大会自転車競技が本町で開催される。
平成 4年	1月	内灘町公共施設等管理公社設立。
	1月	内灘町統計書発行。
	2月	町制施行30周年記念式典。
	4月	屋内温水プール、総合公園テニスコート、福祉センター展望浴場オープン。
	4月	内灘幹部派出所が内灘交番へ名称変更される。
	10月	第7回国民文化祭「海のうた」全国作曲コンクールが本町で開催される。
	10月	故 竹野清次氏 内灘町名誉町民となる。
	12月	社会福祉法人「うちなだの里」うちなだ福祉作業所完成。
平成 5年	3月	内灘町総合公園展望台完成。
	3月	内灘海水浴場に海岸公衆便所完成。
	8月	スクールバス新規購入する。
	9月	故 中村小重氏 内灘町名誉町民となる。
	10月	中国・呉江市と国際友好都市提携。
	12月	内灘町商工会30周年記念式典。
	12月	内灘町総合公園にクラブハウス完成。
平成 6年	3月	第1期林帯遊歩道完成。
	3月	内灘町老人保健福祉計画を発行する。
	4月	都市計画道路「東山内灘線」が全線開通する。
	4月	内灘町農業協同組合が合併により石川かほく農業協同組合となる。
	5月	第3次内灘町総合計画を発行する。
	8月	内灘町文化会館開館15周年記念事業が開催される。
	11月	都市計画道路「大根布線」が開通する。
	12月	第2期林帯遊歩道完成する。
平成 7年	1月	燃えるゴミ指定袋導入を開始する。
	1月	「阪神淡路大震災」救助隊出動。
	1月	防災行政無線が設置される。
	3月	歴史民俗資料館「風と砂の館」オープン。
	7月	紀宮殿下、総合公園ご視察。
	9月	内灘町景観形成基本計画を発行する。
	12月	第3期林帯遊歩道完成する。
平成 8年	2月	南部土地区画地域の字が「ハマナス」となる。

3月	ハマナス恐竜公園完成。
3月	総合公園に「大海賊船」が完成。
3月	向粟崎保育所の新築工事が完了する。
3月	河北潟流域生活排水対策推進計画を策定する。
6月	泉源公園に「平和都市宣言像」を建立する。
11月	内灘町内灘北部地区土地区画整理組合設立する。
11月	河北潟放水路架橋（仮称内灘新橋）建設工事着工。
12月	機具橋の一方通行が供用開始される。
平成 9年 1月	ロシアタンカー「ナホトカ」の重油流出事故が起こる。
1月	内灘町行政改革大綱を策定する。
1月	「幹11号内灘海浜線」が供用開始する。
3月	河北新斎場が完成。
3月	西荒屋小学校体育館完成。
3月	内灘駅前公衆トイレ完成。
4月	清湖小学校開校。
4月	東山内灘線横断歩道橋完成。
4月	ハマナス町会設立。
5月	内灘町役場新庁舎建設工事起工式。
平成 10年 3月	生涯学習都市宣言。
5月	中国庭園完成。
11月	内灘町役場新庁舎完成。
12月	内灘町役場新庁舎横に防火水槽を設置。
12月	国際友好都市の中国呉江市初代市長張 良氏内灘町名誉町民となる。 (注) = 金へんに玉
平成 11年 1月	内灘町役場新庁舎で業務開始。
2月	内灘町役場新庁舎前にタイムカプセル設置。
7月	旧役場庁舎において内灘町保健センターがオープン。
平成 12年 2月	特別養護老人ホーム「夕陽ヶ丘苑」完成。
4月	介護保険制度が始まる。
7月	北部土地区画地域の名称が白帆台に決定。
10月	地域インターネット運用開始。
平成 13年 7月	内灘砂丘文芸スクールが開校する。
9月	内灘大橋（サンセットブリッジ内灘）の開通式開催。同日一般供用開始。

平成 14年	1月	町制施行40周年記念式典開催。
	4月	全国の公立学校で完全学校週5日制が始まる。
	4月	ハマナス公民館落成。
	9月	内灘町で石川県防災総合訓練が実施される。
	11月	内灘湊大橋開通式が開催され、同日暫定2車線の供用開始。
平成 15年	1月	河北郡RDF製造施設「エコラ」が稼動開始する。
	5月	内灘町風力発電所起工式開催。
	10月	内灘町・呉江市友好都市提携10周年記念式典開催。
平成 16年	3月	内灘町風力発電所竣工。
	4月	「働く婦人の家」が、「働く女性の家」と名称変更される。
	12月	内灘町風力発電所の愛称が、「サンセットウィング内灘」に決定。
平成 17年	4月	町情報公開制度、個人情報保護制度施行。
	4月	総合型地域スポーツクラブ「プラッツうちなだ」設立。
	6月	内灘町史第二編発行。
	7月	役場機構改革。町長部局を中心に4部9課9室に。
	7月	金沢市・内灘町行政連絡会発足。
	9月	内灘町子育て支援センターが保健センター内に開設。
	11月	コミュニティバス「おーしゃんループ」試行運転開始。
	12月	内灘町シルバー人材センター設立。
平成 18年	6月	白帆台集会所落成。
	10月	「内灘町と学校法人金沢医科大学との包括連携協力に関する協定」締結。
	10月	金沢ナンバー発進。
	11月	内灘町にインドIT企業が日本支店を開設。
平成 19年	3月	サンセットパークが道の駅「内灘サンセットパーク」として登録。
	4月	内灘町第4次総合計画策定。
	4月	内灘町子育て支援センターが向陽台へ移転。
	4月	(新)宮坂公民館落成。
	4月	サンセットカード事業開始。
	11月	複合商業施設コンフォモール内灘オープン。
平成 20年	2月	内灘町コミュニティバス実験運行開始。
	4月	金沢市・かほく市・津幡町・内灘町消防通信指令事務共同運用開始。
	5月	石川工業高等専門学校との連携協力に関する協定締結。
	7月	宮坂南線開通。

7月	内灘町コミュニティバスの愛称が「なだバス ナディ」に決定。
8月	内灘町ファミリーサポートセンター開設。
8月	大野川氾濫。
9月	蓮湖渚公園開園。
11月	北部土地区画の字の名称が白帆台に変更。
平成 21年 4月	内灘海岸及びサンセットブリッジ内灘周辺が「恋人の聖地」に認定される。
4月	役場機構改革。環境政策課設立。
4月	内灘中学校新校舎完成。
6月	レジ袋無料配布中止。
7月	内灘海水浴場にて第1回ビーチベースボール北陸大会IN内灘開催。
9月	西荒屋小学校大規模改修及び耐震化工事完成。町内小中学校耐震化工事完了。
平成 22年 2月	中国遼寧省大連市旅順口区と「友好交流に関する基本合意書」に調印。
3月	金沢医科大学内に病児保育室「すまいる」開設。
4月	第1回まちづくり町民会議開催。
4月	内灘町総合公園内大型船遊具「海族船サンセット号」完成。
5月	町商工会、日中友好協会、金沢医科大学、石川工業高等専門学校の各代表と町議会議員8名が中国大連市旅順口区を訪問。
9月	内灘町総合公園内見晴台に恋人の聖地「ダブルハート(オブジェ)」、「幸せへの鐘」設置。
10月	内灘町総合体育館耐震補強改修工事完了。
10月	内灘町健康情報発信サイト「うちLico」・「けんこうバンクLico」開設。

石川県における内灘町

項目	単位	本町	県合計又は 県平均	調査時点
1. 土地総面積	km ²	20.38	4,185.58	21.10.1
2. 町(字)数	町(字)	42	3,104	21.4.1
3. 世帯数	世帯	9,877	443,480	21.10.1
4. 人口	人	26,730	1,166,656	"
5. 1世帯当たり人員	人	2.71	2.63	"
6. 人口密度(1km ² 当たり)	人	1,311.6	278.7	"
7. 出生率(人口千人当たり)	人	7.3	8.7	平成20年
8. 死亡率(人口千人当たり)	人	6.6	9.4	"
9. 人口動態(転入)	人	896	39,332	"
10. 人口動態(転出)	人	945	40,527	"
11. 年少人口(0~14歳)	人	4,085	161,638	20.10.1
12. 生産年齢人口(15~64歳)	人	17,543	730,590	"
13. 老年人口(65歳~)	人	5,086	273,573	"
14. 産業別人口総数	人	13,624	596,324	17.10.1
第1次産業人口	人	148	23,237	"
第1次産業比率	%	1.1	3.9	"
第2次産業人口	人	4,018	176,786	"
第2次産業比率	%	29.5	29.6	"
第3次産業人口	人	9,321	389,749	"
第3次産業比率	%	68.4	65.4	"
15. 事業所数	事業所	946	66,948	18.10.1
16. 事業所従業者総数	人	6,787	577,944	"
17. 農業経営体数	戸	91	22,741	17.2.1
18. 耕地面積	ha	231	31,149	"
19. 1経営体当たりの面積	a	263	140	"
20. 農業産出額	千万円	207	5,904	平成18年
21. 製造業の事業所数	事業所	29	3,796	20.12.31
22. 製造業の製造品出荷額等	万円	484,570	281,263,370	"
23. 従業者1人当たり製造品出荷額等	万円	1,205	2,729	"
24. 卸・小売業商店数	商店	171	16,564	19.6.1
25. 卸・小売業従業者数	人	1,017	107,999	"
26. 卸・小売業年間商品販売額	百万円	16,233	4,157,618	"
27. 従業者1人当たり年間商品販売額	万円	1,596	3,850	"
28. 国民年金被保険者数	人	5,983	239,839	平成20年度
29. 国民健康保険被保険者数	人	6,250	289,294	"
30. 国民健康保険1人当たり療養諸費	円	302,326	323,962	"
31. 国県市町道実延長	m	172,002	12,930,723	20.4.1
32. 市町道舗装率	%	98.8	87.4	"
33. 市町道改良率	%	92.5	73.2	"
34. 普通会計歳入決算額	千円	8,482,141	485,962,414	平成20年度
35. 歳入総額に占める市町村税の比率	%	31.4	38.6	"

資料:『石川県市町勢要覧』『石川100の指標』